

2026 年 9 月 29 日

富士ソフト株式会社

富士ソフトグループ、「スマート工場オフリング」を体系化し本格展開 設計・製造・設備運用・データ活用を AI×IT×OT でつなぎフィジカル AI へ

富士ソフト株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：室岡 光浩）は、設計から製造、設備運用、データ活用までを一気通貫で支援する「スマート工場オフリング」を体系化し、本格展開します。人手不足や技能継承、設計・製造・設備・データの分断といった製造業の課題に対し、AI×IT×OT でつなぐ支援を提供します。既存設備を活かしながらスマート工場化を進め、将来的にはフィジカル AI が自律的に最適化する工場の実現をめざします。

工場だけでは解けない、製造現場の課題

日本の製造業では、人手不足や技能継承、設備の老朽化、サプライチェーンの複雑化が同時に進んでいます。製造業の就業者数は、2002 年度の 1,202 万人から 2025 年度には 1,033 万人へと 14.1%減少しています。また、製造現場では、「設計と製造」「設備と業務システム」「データと意思決定」など、多くの場面で分断が生じています。すべてのチェーン間でデータ連携ができていない企業は 5%弱にとどまり、工場単体の改善では企業全体の競争力向上につなげにくい状況です。※1

設計から設備運用までスマート工場化を一気通貫で支援

富士ソフトグループは、設計開発・生産準備・製造実行・設備運用までを一気通貫で支援できることを強みとしています。CAE・MBSE・PLM など設計領域に強みを持つサイバネットシステム株式会社と、組込・制御からロボット SI、MES、データ基盤など幅広い技術を持つ富士ソフトが連携。多様な現場で培った知見をもとに成功パターンを型化し、幅広い製造現場で再現可能なオフリングとして提供します。

富士ソフトグループの強み — 製造 DX を包括的に支援



富士ソフトグループ連携により、設計から運用の現場を一気通貫で支援

製造業の課題に応える 4 つのオフリング

今回、富士ソフトグループが提供する技術やサービスを、製造業のお客様が抱える課題に応じた 4 つのオフリングとして体系化しました。

① 設計・生産準備のデジタル化

製品の企画から設計、製造、保守までの情報を一元管理し、モデリング、解析、シミュレーションなどの技術を組み合わせ、企画・設計/開発・生産準備の各工程をデータでつなぎます。情報の分断を解消し、手戻りの削減と意思決定の迅速化を図ることで、開発期間の短縮、市場投入スピードの向上、コストの最適化を支援します。

② 製造実行・現場管理の高度化

生産ラインやロボットの動作を仮想空間で事前に検証します。その結果を実際の設備やロボットへ反映するとともに、現場のデータを仮想空間へ戻すことで、生産環境を継続的に改善します。実機導入前の試運転や調整を効率化し、ラインの立ち上げ期間や試作コストの削減、設備投資の最適化、省人化を支援します。

③ 設備・製造工程の自動化

生産設備の稼働状況、製造指示、作業実績、検査結果などを一体で管理します。既存設備を全面的に更新するのではなく、センサーや制御機器、ソフトウェアを追加するレトロフィットにも対応します。既存設備を活かしながら、稼働ロスの可視化、トレーサビリティの向上、生産計画の最適化を支援します。

④ データ統合・活用

設計から製造、品質、保全まで、異なる工程やシステムに分散するデータをつなぎます。集約したデータを故障予測や品質改善、生産計画の最適化に活用し、経営と現場の迅速な意思決定を支援します。

フィジカル AI を「試せる技術」から「使える仕組み」へ

富士ソフトは、デジタルスレッドでつながれたデータを基盤に、現場の状況を理解し、最適な動作を判断、ロボットや設備を自律的に制御するフィジカル AI の社会実装を進めます。市場創出に向けた社会実装の加速と、実装を支える基盤の先行開発を、次の 2 つの取り組みで推進します。

パッケージ化による社会実装の加速：

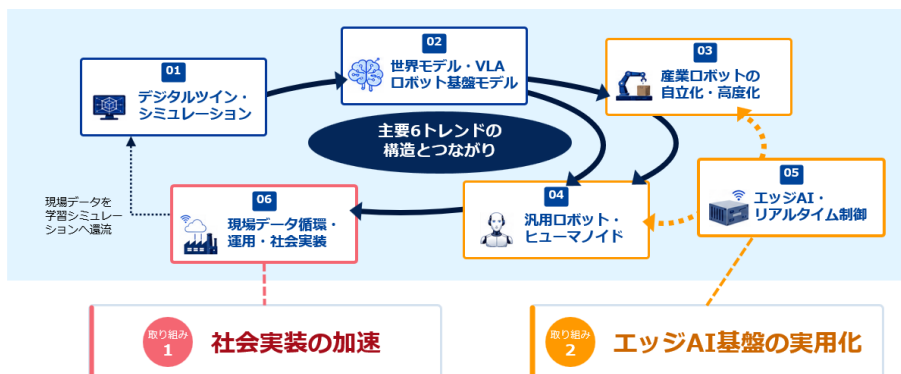
ロボットメーカー・商社と連携し、フィジカル AI のスタートパッケージを 2026 年 10 月 13 日（火）より取り扱います。ロボットに加え、AI、ソフトウェア、ハードウェアなどの周辺環境を一体で提供することで、フィジカル AI の価値を短期間で体験できます。富士ソフトの AI、IT の実装力とノウハウを活かし、アセスメントから PoC、本番実装、他ライン・他拠点への横展開まで伴走支援します。

次世代エッジ基盤の先行開発：

複数の主要半導体ベンダーとのアライアンスにより、最新デバイスの技術蓄積をいち早く進めています。エッジでのフィジカル AI 実装に最適なハードウェアプラットフォームを準備し提供します。この基盤と、マルチベンダーに対応できる現場実装力で、個別最適化された日本の製造現場の DX 化に寄与します。

フィジカルAI社会実装に向けた取り組み

豊富な製造業のお客様との開発経験と、組込開発力をベースに2つのフィジカルAIの実装提案を推進

**PoC で終わらせず、動き続ける工場へ**

富士ソフトグループは、スマート工場オフリングを通じて、工場単体の改善から、設計・製造・設備・データ・経営をつなぐ「つながる経営」への移行を支援します。

AI、IT、OT を組み合わせ、設計情報や現場データを「つなぐ」、蓄積した知見を「活かす」、ロボットや設備を「動かす」までを一気通貫で支援します。PoC で終わらせず、実装から運用、他拠点への展開まで伴走することで、既存工場を止めることなく進化させ、製造業の持続的な競争力向上に貢献してまいります。

※1 出典：経済産業省「2026 年版ものづくり白書」

関連情報

スマートファクトリーソリューション

<https://www.fsi.co.jp/smartfactory/>**サイバネットシステム株式会社について**URL : <https://www.cybernet.co.jp/>

1985 年の創業以来、物理学をはじめとする科学技術とデジタル技術の双方に精通した技術者集団として、製造業の開発・設計部門や大学、政府系研究機関に対し、最先端のデジタルソリューションおよび技術コンサルティングサービスを提供しています。

現在では、創業当初から取り組んできた CAE を核に、PLM や XR、インサイト IT などへ事業領域を拡大。ものづくりの工程全体におけるデジタル化を推進し、業務の効率化・高度化に貢献しています。また、これらを支える基盤として、クラウドやデータベースおよびセキュリティ関連のソリューションも提供し、企業が安心して DX を進められる環境づくりを支援しています。さらに、AI を活用した大腸内視鏡向けプログラム医療機器として、国内で初めて診療報酬加算の対象となるなど、医療 AI のパイオニアとして業界をリードしています。

富士ソフト株式会社について

事業内容：コンサルティング、開発、システム構築、サポートまでのトータルソリューション

URL：<https://www.fsi.co.jp/>

富士ソフトは、個のエンジニアリング力と高度な組織力を結集し、AI・IT・OTの融合によりお客様の未来を創造するデジタルイノベーションカンパニーです。1970年の創業以来、組込・制御技術と各産業に最適化されたソリューションで実績を築き、組込／制御分野では自動車やロボットなどの先端領域、ソリューション分野では業務系開発や官公庁・電力など社会インフラを支えてきました。2026年より新理念「社会の発展とおお客様の価値創出に寄り添う、かけがえのない存在であり続ける」を掲げ、「組込／制御」「社会インフラ」「ソリューション」事業における先進技術と組織力を強みに、多様なオファリングを展開。経営変革の伴走パートナーとして、常にイノベーションに挑戦しながら、お客様と共に未来を創造し続けます。

【公式 SNS】

LinkedIn：<https://jp.linkedin.com/company/fujisoft-incorporated>

Facebook：<https://www.facebook.com/FUJISOFT.japan>

X：https://x.com/FSI_official_X

お問い合わせ先

ニュースリリースについて

コーポレートコミュニケーション部 広報窓口

TEL：050-3000-2735

E-MAIL：mkoho@fsi.co.jp

製品・サービスについて

組込／制御ビジネスユニット エリア事業本部 スマートビジネス部

TEL：050-3000-2103

E-MAIL：E2E@fsi.co.jp

※ 記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。